

特集 新しくなりました♪

宮城県図書館

『音と映像のフロア』

現在の宮城県図書館は、収蔵能力の拡大、新しい機能の追求、県民誰もが楽しみながら学べる生涯学習の拠点施設として次のコンセプトに基づき、平成10年3月にオープンしました。

多様なプレゼンテーション機能を持つ文化センターとしての図書館

すべての人々を楽しく迎え入れる公園としての図書館

明るい未来を象徴する図書館

「音と映像のフロア」もこれらのコンセプトの具現化を目指して運営されています。

今回は、平成14年3月に、新しくDVD資料のプレゼンテーション機能を追加した館内視聴サービスを中心に「音と映像のフロア」について特集します。

DVDカートの導入は、
図書館では、
全国で初めてです！

DVDの館内視聴サービスをスタート！

DVDってなあに？

「Digital Video Disc」の略とも「Digital Versatile (多
な) Disc」の略とも言われる大容量記憶メディアのひとつ
です。その映像・音楽は、従来のビデオやCDをはるかにし
の性能を誇っています。また、DVDメニューによるマルチ
機能も特徴です。

現在、公共図書館でサービス可能な映像資料(著作権処理
済資料)は、ビデオやレーザーディスクからDVDへと急激
に転換しています。宮城県図書館でもこの変化に対応するた
めにDVD資料の収集を始めました。

DVDカートってなあに？

受付で予約番号を入力するとカート内の8つのセンサーを
もったロボットが該当のDVDを探し、つかみ、決められた
プレーヤーに装てんする装置です。宮城県図書館のDVDカ
ートには、DVDディスクが3,225枚収納でき、28台のプレ
ーヤーに自動装てんします。装填時間は数秒間で、スピー
ディで正確なサービスを提供しています。



3,225枚のDVDを格納できるカート



8つのセンサーをもったロボットがDVDをスピーディに運びます

どんなDVD資料があるの？

保存の必要性の高い資料を中心に収集しています。デジタル
化された素材なので劣化の心配はなく、また、カートに収
納しているので、破損や傷なども防げます。代表的な収集資
料は次のとおりです。

世界の美術館	ヨーロッパ18美術館の絵画
ナショナル・ジオグラフィック	地球上で起こる様々な出来事のドキュメント、エミー賞受賞作品
オペラ全集	世界3大レーベル提供の不滅のオペラ集
日本の記録	日本の20世紀、激動の100年の歴史
映像の世紀	激動の20世紀を映像で追体験(NHK)
プロジェクトX	「無名の日本人」の飽くなき挑戦を描く(NHK)
大自然の驚異	IMAXシアター70mmフィルム映像
宇宙デジタル図鑑	最先端の技術による貴重な映像(NHK)
日本百名山	作家・深田久弥が、厳選した山々を映像でたどる
生命	14億年はるかな旅(NHK)
映画	著名な映画賞受賞作品を中心に収集

ブースの使い方は？

『予約』『受付』『視聴操作』の3つの手順が必要です。
今回は、問い合わせの多い『予約』の仕方を説明します。

利用カードと視聴を希望する資料(ビデオ、DVD、レーザーディスク、CDなど)を準備します。
県外の方や利用カードの必要のない方は、カウンターにて仮カードをお貸しします。

「予約端末タッチパネル」で利用申し込みボタンを押します。

利用カードのバーコードを読み込ませます。
注意!...「決定」ボタンを押さないでください!

資料番号のバーコードを読み込ませます。
注意!...宮城県図書館のバーコードです。ビデオの場合は、本体に貼ってあります。

待ち時間を確認し、ブースの種類を選択します。

確認画面を確かめながら「予約ボタン」を押します。

印刷された予約券、利用カード、資料を持ちカウンターで手続きをします。

